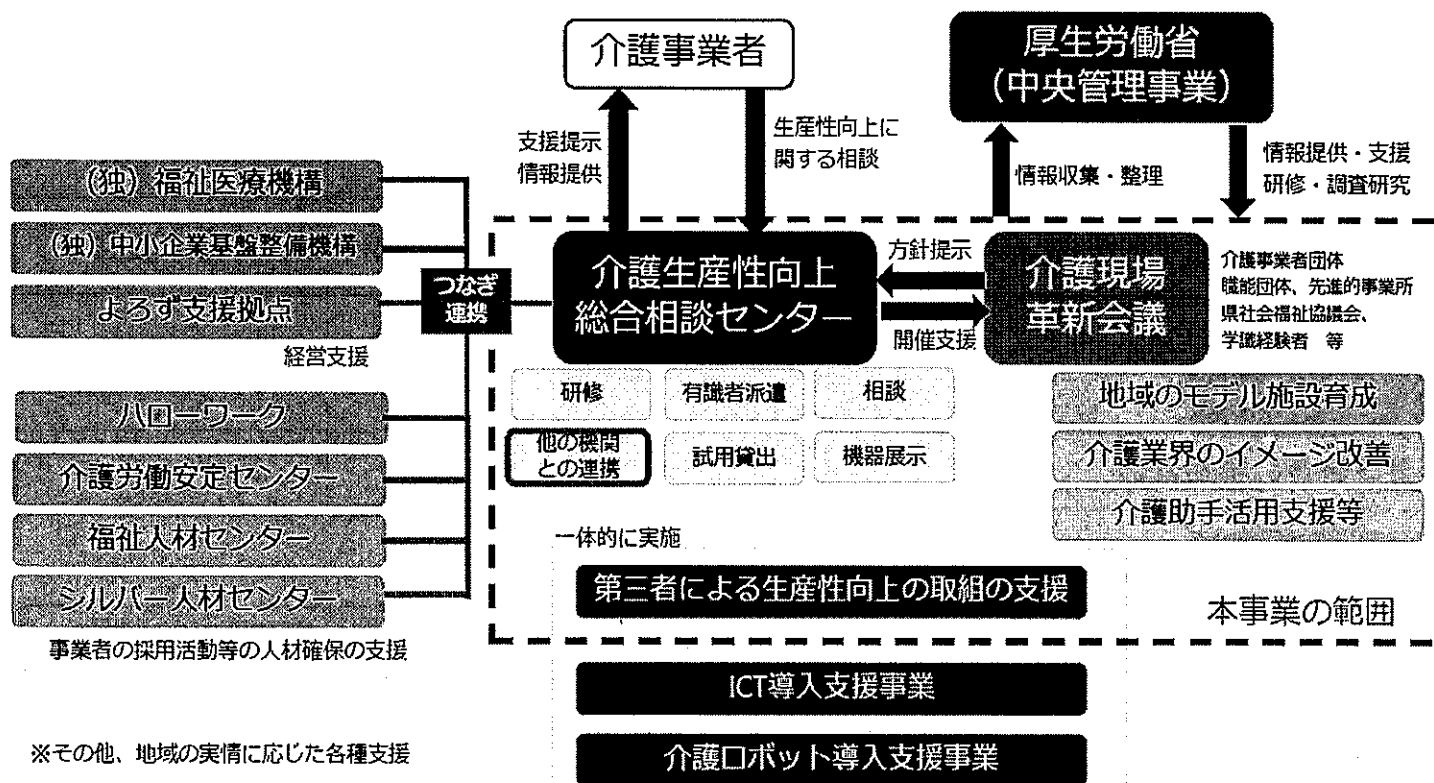


# 介護生産性向上総合相談センター（仮称）の設置

1

## 介護生産性向上推進総合事業（具体的な事業イメージ）



2

## 「介護生産性向上総合相談センター（仮称）」機能案

●厚労省「センター設置・運営に係る手引き」によると、以下の機能が想定される

- (1) 介護現場における生産性向上の取組に関する研修会  
介護現場における生産性向上の取組の普及を目的とした研修会の実施
- (2) 生産性向上に取り組む介護事業所に対する専門家の派遣  
生産性向上の取組を実施しようとする介護事業所に対し、個別に専門家を派遣し、助言等の支援を実施
- (3) 介護事業所からの生産性向上の取組等に関する相談対応  
介護事業所からの生産性向上の取組等に関する相談の他、人材確保や事業所の経営面での相談、魅力発信等、テクノロジーの活用等による業務改善以外に関する相談等に対する助言を実施
- (4) 介護ロボット等機器展示  
介護ロボット等の常設展示  
ただし、常設展示が困難な場合には、開発企業等を集めた出張展示会を実施
- (5) 介護ロボットの試用貸出  
介護ロボット等のテクノロジーを活用した生産性向上の取組を行おうとする介護事業所に対し、介護ロボットの試用貸出を実施

3

### ①研修会の実施

#### 目的

- 生産性向上の取組の必要性や取組の方法、先進的な事例等を広く普及・啓発すること

#### 実施内容

- 生産性向上ガイドラインや介護ロボット・ICT導入の手引き等を活用して研修会を実施

#### 成果指標

- 研修会の参加者数

#### 検討事項

- 研修会のターゲットをどうするか。（経営層か、改善活動推進者か）
- 研修会の内容をどうするか。（生産性向上ガイドラインに基づき改善活動の推進）

4

## ② 専門家派遣

### 目的

- 生産性向上の取組内容やノウハウを横展開するために、地域においてモデルとなる介護サービス事業所の取組を創出すること

### 実施事項

- 介護サービス事業所における業務改善の取組を専門家が個別に支援
- 伴走支援を行った介護サービス事業所の取組を研修会や事業所の見学会などを通じて、地域の事業所に横展開

### 成果指標

- 専門家派遣の実施件数

### 検討事項

- 専門家のネットワークをどのように構築するか
- モデル事業所の取組内容をどのように横展開するか

5

## ③ 相談受付

### 目的

- 介護サービス事業所が抱える生産性向上（介護ロボット・ICTを含む）の取組に関する全般的な課題や、開発企業が抱える介護ロボットの開発に関する課題が十分に解決されること

### 実施事項

- 事業所からの生産性向上の取組等に関する相談を受け付け、事業所の抱える課題の解決策を共に検討
- センターで解決できない場合は、関連する機関や事業と連携したうえで、相談者の課題が解決するよう支援を実施

### 成果指標

- 相談対応件数

### 検討事項

- 介護ロボット導入等の補助事業（介護テクノロジー定着支援事業）においては、業務改善計画の作成に係る相談窓口としてセンターが位置付けられている
- 自事業所の課題が見えていないケースがある中、生産性向上のに向けた改善活動を促進するためには、どのようなアプローチを行うか（セミナー開催、HPでの事例紹介等）
- 相談受付の範囲はどこまでを対象とするか（人材確保、経営相談等）

6

## ④介護ロボット等機器展示

### 目的

- 介護職員や介護職を目指す学生、一般の方等を対象に、介護ロボット・ ICT を周知すること

### 実施事項

- 介護ロボット・ ICTを体験する展示場のスペースの確保・整備
- 体験展示の希望者に対して、体験の際の注意事項等を説明したのち、案内を実施。必要に応じて活用場面や機器の特性等の説明を行う
- 必要に応じて、センターの拠点以外で実施する出張型の展示も検討

### 成果指標

- 体験展示の来場者数

### 検討事項

- 常設展示が困難な場合には、一時的に展示会場を借り上げた上で、開発企業等を集めて出張展示を行うことや、先進的に介護ロボット・ ICT を導入しているモデル事業所の見学を実施することも検討

7

## ⑤介護ロボットの試用貸出

### 目的

- 介護サービス事業所等に実際の介護ロボット・ ICT に触れ、活用を体験してもらうことにより、介護ロボット・ ICT の普及を促進すること

### 実施事項

- 介護ロボット・ ICT の開発企業と調整の上、介護ロボットの貸し出しを行う
- 試用貸出の対応実績、効果・課題等の把握、開発企業と介護サービス事業所等を繋ぐ等の支援をすることで、将来的に、介護現場の課題がより効果的に解決されるためのサービスの提供に繋げる

### 成果指標

- 使用貸出の件数

### 検討事項

- 貸出機器の種類をどうするか
- 貸し出しのルールをどうするか（機器の貸出期間、事業所との貸出ルール）

8

## センター開設に向けた検討項目

No.	取組名	検討項目
1	センターの名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「介護生産性向上総合相談センター」という名称は、国が示した仮称</li> <li>○一般に浸透しやすい名称の設定にする必要があるのではないか</li> </ul>
2	想定する開設主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開設主体のマンパワーや設備、費用面でどこまで対応できるか不透明</li> <li>○開設主体は、企画提案コンペにより公募する方向でどうか</li> </ul>
3	専門家（専門家派遣）の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門的なノウハウを持つ人材の確保が困難</li> <li>○団体・事業者の立場から、どのような支援を求めるか</li> </ul>
4	相談対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○センターが支援する範囲は、どこまでとするか (人材確保・育成、補助金支援、経営相談等)</li> <li>○団体・事業者の立場から、どのような役割を期待するか</li> </ul>
5	介護ロボットの機器展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予算やスペース、最新機器への対応等から、常設展示は困難でないか</li> <li>○導入施設の見学や機器の貸し出し、出張展示の方法をどうするか</li> </ul>
6	他の機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○より効果的な支援のため、どのような機関と連携すべきか</li> </ul>

